

平成29年度（30年3月期） 第1四半期連結決算概要

1.平成29年度 第1四半期 決算実績 <対前期>

(1)決算実績のポイント 増収減益：増収は3期ぶり、減益は2期連続（純利益ベース）。

ガス販売量	+106百万m <sup>3</sup>	: 発電用などの需要増
電力販売量	+692百万kWh	: 小売電力件数増
売上高	+284億円	: 販売量増および原料費調整に伴う単価増などによる「都市ガス」の売上増 +149億円 : 小売電力販売量増などによる「電力」の売上増 +179億円
営業費用	+408億円	: 原油価格上昇影響などによるガス原材料費等増 +348億円（当期1,397←前期1,049）
営業外損益	+11億円	: 受取配当金 +8億円
特別損益	+3億円	:（当期）固定資産売却益 +32億円 :（前期）投資有価証券売却益 +29億円

<29年6月末現在連結会社数：連結子会社 70社、持分法適用関連会社 8社>

(単位:億円)

決算実績表	29年度1Q	28年度1Q	増減	%
売上高	4,041	3,757	284	7.6
営業費用	3,694	3,286	408	12.4
営業利益	346	471	△125	△26.4
経常利益	358	472	△114	△24.0
親会社株主に帰属する当期純利益	278	391	△113	△28.9

経済フレーム	29年度1Q	28年度1Q	増減
為替レート(¥/\$)	111.09	108.16	2.93
原油価格(\$/bbl)	53.36	41.12	12.24
平均気温(°C)(※)	16.7	17.3	△0.6

(※)お客さまそれぞれの、ご使用期間（前月の検針日から当月の検針日まで）における気温を平均したものを。

(2)ガス・電力販売量

		29年度1Q	28年度1Q	増減	%	
ガス	家庭用	百万m <sup>3</sup>	861	828	33	4.1
	業務用	百万m <sup>3</sup>	590	578	12	2.1
	工業用	百万m <sup>3</sup>	1,821	1,691	130	7.7
	計	百万m <sup>3</sup>	2,412	2,269	143	6.3
	他事業者向供給	百万m <sup>3</sup>	437	507	△70	△13.7
合計	百万m <sup>3</sup>	3,710	3,604	106	3.0	

家庭用 : 低気温影響による給湯需要増  
業務用 : 低気温影響による給湯需要増  
工業用 : 発電用需要増  
他事業者向供給 : 供給先減

当社供給区域内の1Q末都市ガス取り付けメーター数（千件） : 11,553（対前期+135）

		29年度1Q	28年度1Q	増減	%	
電力	小売	百万kWh	785	157	628	399.9
	その他	百万kWh	2,587	2,523	64	2.6
	合計	百万kWh	3,372	2,680	692	25.8

小売 : 件数増による販売量増

(3)セグメント別売上高・セグメント利益

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	29年度1Q	28年度1Q	増減	%	29年度1Q	28年度1Q	増減	%
都市ガス	2,717	2,568	149	5.8	358	501	△143	△28.5
電力	452	273	179	65.9	30	3	27	845.7
海外	117	73	44	58.8	19	12	7	63.2
エネルギー関連	975	1,007	△32	△3.1	11	46	△35	△75.9
不動産	104	100	4	3.8	22	22	0	4.0
その他	196	188	8	4.2	1	2	△1	△10.6
調整額	△523	△454	△69	-	△94	△109	15	-
連結	4,041	3,757	284	7.6	351	477	△126	△26.5

(注) ・セグメント別売上高には事業間の内部取引を含んでいる。  
・セグメント利益には持分法損益を含んでいる。セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配賦していない全社費用。  
・「エネルギー関連」の主要な製品・サービスは、エンジニアリングソリューション、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、ガス器具、ガス工事、建設等。

(4)主要計数

(単位:億円、%)

	29年度1Q	28年度1Q	増減		29年度1Q	28年度1Q	増減
設備投資	289	389	△100	D/Eレシオ	0.66	0.65	0.01
営業キャッシュ・フロー	674	784	△110	ROA	1.3	1.8	△0.5
有利子負債	7,247	7,135	112	ROE	2.5	3.6	△1.1

(注) 有利子負債、D/Eレシオは29年3月末との比較

2.平成29年度 通期見通し <対前回(4.28)見通し>

(1)通期見通しのポイント 対前回 減収増益（対前期 増収増益）

ガス販売量	+178百万m <sup>3</sup>	: 発電需要増による工業用の販売量増等
売上高	△50億円	: 都市ガス△25億円（売上単価減）、電力△11億円（売上単価減）他
営業費用	△70億円	: 都市ガス△36億円（原材料費単価減）、電力△22億円（燃料費単価減）他
営業利益	+20億円	: 都市ガス+12億円（販売量増）、電力+11億円（小売販売量増）他 : 前提となる経済フレームは変更なし（為替レート: 115円/\$、原油価格: 55\$/bbl）

(単位:億円)

	今回	前回	増減	%	28年度	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	15,326	15,148	178	1.2	15,720	△394	△2.5
電力販売量(百万kWh)	14,615	14,696	△81	△0.5	12,654	1,961	15.5
売上高	18,080	18,130	△50	△0.3	15,870	2,210	13.9
営業費用	17,240	17,310	△70	△0.4	15,287	1,953	12.8
営業利益	840	820	20	2.4	583	257	43.9
経常利益	800	750	50	6.7	556	244	43.7
親会社株主に帰属する当期純利益	610	550	60	10.9	531	79	14.8

経済フレーム	29年度	28年度	増減
為替レート(¥/\$)	114.02	108.38	5.64
原油価格(\$/bbl)	54.59	47.51	7.08
平均気温(°C)	16.0	16.3	△0.3

為替・原油変動のガス粗利影響感度(2Q以降)

(単位:億円)

	売上高	原料	営業利益
円・ドルレートが¥1/\$円安	29	37	△8
原油価格JCCが\$/bbl上昇	30	49	△19